

混相流を伴う自然災害
～数値解析の観点から現象を捉える～

主催 日本混相流学会

協賛 日本機械学会, 化学工学会, 粉体工学会, 可視化情報学会, 日本伝熱学会, 日本流体力学会, 日本原子力学会, 日本実験力学学会, 土木学会, 日本マリンエンジニアリング学会 (予定)

開催日 2012年2月28日(火)

会場 名古屋大学 ベンチャービジネスラボラトリー

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

JR 名古屋駅・名鉄新名古屋駅・近鉄名古屋駅から地下鉄東山線藤が丘行きに乗車し, 本山駅で地下鉄名城線右回りに乗り換え, 名古屋大学駅で下車, 3番出口利用,

所要時間約40分(乗換含). <http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/>

最新の情報は日本混相流学会ホームページ <http://www.jsmf.gr.jp/> でご確認ください.

趣旨 地震, 津波, 河川氾濫などの多くの自然災害は, 混相流を伴う現象として捉えることができます. 様々な自然災害が多発するわが国では, それらの予測や解析に多大な期待が寄せられています. 本講演会では, 混相流を伴う自然災害を対象として, 数値解析を活用した予測・解析に焦点を当て, 国内の新進気鋭の専門家を講師として招き, その基礎から先端的応用にいたる系統的なレクチャーを設定しました. 当該分野に携わっておられる研究者・技術者ばかりでなく, 将来を担う学生の皆様の参加も歓迎いたします.

講師・講演内容

10:00-10:05

開会挨拶 日本混相流学会企画理事 齊藤泰司(京都大学)

10:05-11:05

津波浸水と津波漂流物に関する数値解析

川崎浩司(名古屋大学大学院工学研究科・准教授)

11:05-12:05

地震によって生じる地盤災害の水～土骨格連成有限変形解析

中井健太郎(名古屋大学大学院工学研究科・准教授)

休憩

13:30-14:30

漂砂に伴う地形変化と流体の相互作用を考慮した数値計算モデルと遡上津波による局所洗掘現象への適用

中村友昭(名古屋大学高等研究院・特任講師)

14:30-15:30

粒状体モデルを用いた被覆材挙動予測と高波災害への適用

原田英治(京都大学大学院工学研究科・准教授)

休憩

15:50-16:50

土砂・流木の運動を伴う氾濫災害への粒子法の適用

五十里洋行（京都大学大学院工学研究科・助教）

16:50-17:05

総合討論

17:05-17:10

閉会挨拶 レクチャーシリーズ運営委員長 内山知実（名古屋大学）

参加費	学会員（協賛を含む）	15,000 円
	非会員	20,000 円
	学生・院生	5,000 円

定員 100 名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

申込方法 下記申し込み先に、「第 37 回レクチャーシリーズ申込」と題記し、氏名、電子メールアドレス、所属、部署、電話番号、会員資格（会員/非会員/学生・院生）を明記のうえ、電子メールにてお申し込みください。その後、下記まで参加費をお振込みください。

参加費振込先 郵便振替 口座番号：00880-2-207113
加入者名：混相流レクチャーシリーズ運営委員会

銀行などから振込む場合には、 ゆうちょ銀行0八九店、当座預金 0207113 混相流レクチャーシリーズ運営委員会 とご指定ください。

申込締切 2012 年 2 月 14 日（火）（参加費振込締切：2012 年 2 月 21 日（火））

申込・問合せ先 レクチャーシリーズ運営委員会委員長 内山知実

Phone: 052-789-5187, E-mail: uchiyama@is.nagoya-u.ac.jp